

鶴岡工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)		授業科目	日本語Ⅱ
科目基礎情報						
科目番号	0244		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	一般科目		対象学年	3		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	留学生の日本語（アルク）、英語で紹介する日本の年中行事（ナツメ社）、総合日本語初級から中級へ（ナツメ社）					
担当教員	富樫 恵					
到達目標						
1 日本での生活および本校で学校生活を送るのに十分な日本語運用能力を身につける。 2 日本の文化、習慣、社会制度などへの理解を深める。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	日本人向けに書かれたややフォーマルな日本語文を読んで理解できる。		漢字が少なく、比較的易しい口語調の日本語文を読んで理解できる。		日本語初級者向けのかかなり易しい日本文も読んで理解できない。	
評価項目2	漢字を交えて、文法的に誤りのない日本語文を書くことができる。		文法的にはおおむね正しい日本語文を書くことができる。		日本文がほとんど書けない。	
評価項目3	相手に配慮しつつ、自然な日本語で自分の意見を誤解なく口頭で伝えることができる。		話す日本語はやや不自然ではあるが、自分の考えを誤解なく口頭で伝えることができる。		日本語がほとんど話せないか、片言の日本語しか話せない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	日本語Ⅰをふまえ、自分の意見や感想を「話し言葉の日本語」で表現する能力を身につける。					
授業の進め方・方法	少人数の授業なので、対話、演習形式で授業を行います。					
注意点	日本語、日本文化などについて分からないことがあったら、遠慮なく質問して下さい。初めて知る日本語の漢字や表現は、なるべく意識的に覚えるように努力して下さい。					
事前・事後学習、オフィスアワー						
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	自己紹介・自国紹介		各人各国を知り、理解を深める。	
		2週	4～6月の行事		日本の行事を知るとともに、各国の行事等を発表し合い理解を深める。	
		3週	4～6月の行事		日本の行事を知るとともに、各国の行事等を発表し合い理解を深める。	
		4週	4～6月の行事		日本の行事を知るとともに、各国の行事等を発表し合い理解を深める。	
		5週	レッスン1 住宅		各レッスンの日本語と内容を理解する。 日本と各国の文化について話し合い、理解を深める。	
		6週	レッスン2 足のうら		各レッスンの日本語と内容を理解する。 日本と各国の文化について話し合い、理解を深める。	
		7週	レッスン3 るすばん電話		各レッスンの日本語と内容を理解する。 日本と各国の文化について話し合い、理解を深める。	
		8週	7～9月の行事		日本の行事を知るとともに、各国の行事等を発表し合い理解を深める。	
	2ndQ	9週	7～9月の行事		日本の行事を知るとともに、各国の行事等を発表し合い理解を深める。	
		10週	7～9月の行事		日本の行事を知るとともに、各国の行事等を発表し合い理解を深める。	
		11週	レッスン4 コーヒー		各レッスンの日本語と内容を理解する。 日本と各国の文化について話し合い、理解を深める。	
		12週	レッスン5 地下生活		各レッスンの日本語と内容を理解する。 日本と各国の文化について話し合い、理解を深める。	
		13週	レッスン6 企業内学校		各レッスンの日本語と内容を理解する。 日本と各国の文化について話し合い、理解を深める。	
		14週	レッスン7 商店		各レッスンの日本語と内容を理解する。 日本と各国の文化について話し合い、理解を深める。	
		15週	前期のまとめ」		前期の学習内容の中で、重要な日本語表現をもう一度理解し、覚え直す。	
		16週				
後期	3rdQ	1週	10～12月の行事		日本の行事を知るとともに、各国の行事等を発表し合い理解を深める。	
		2週	10～12月の行事		日本の行事を知るとともに、各国の行事等を発表し合い理解を深める。	
		3週	10～12月の行事		日本の行事を知るとともに、各国の行事等を発表し合い理解を深める。	
		4週	レッスン8 登校拒否		各レッスンの日本語と内容を理解する。 日本と各国の文化について話し合い、理解を深める。	
		5週	レッスン9 宅配便		各レッスンの日本語と内容を理解する。 日本と各国の文化について話し合い、理解を深める。	

		6週	レッスン 10 カード時代	各レッスンの日本語と内容を理解する。 日本と各国の文化について話し合い、理解を深める。
		7週	レッスン 11 ゴミ	各レッスンの日本語と内容を理解する。 日本と各国の文化について話し合い、理解を深める。
		8週	1～3月の行事	日本の行事を知るとともに、各国の行事等を発表し合い理解を深める。
	4thQ	9週	1～3月の行事	日本の行事を知るとともに、各国の行事等を発表し合い理解を深める。
		10週	1～3月の行事	日本の行事を知るとともに、各国の行事等を発表し合い理解を深める。
		11週	レッスン 12 コピー食品	各レッスンの日本語と内容を理解する。 日本と各国の文化について話し合い、理解を深める。
		12週	レッスン 13 在宅勤務	各レッスンの日本語と内容を理解する。 日本と各国の文化について話し合い、理解を深める。
		13週	レッスン 14 サルと人間	各レッスンの日本語と内容を理解する。 日本と各国の文化について話し合い、理解を深める。
		14週	レッスン 15 相性	各レッスンの日本語と内容を理解する。 日本と各国の文化について話し合い、理解を深める。
		15週	後期のまとめ	後期の学習内容の中で、重要な日本語表現をもう一度理解し、覚え直す。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	情報の収集や発想・選択・構成の方法を理解し、論理構成や口頭によるものを含む表現方法を工夫して、科学技術等に関する自らの意見や考えを効果的に伝えることができる。また、信頼性を重視して情報を分析し、図表等を適切に活用・加工してコミュニケーションに生かすことができる。	2	
				他者の口頭によるものを含む表現について、客観的に評価するとともに建設的に助言し、多角的な理解力、柔軟な発想・思考力の涵養に努めるとともに、自己の表現の向上に資することができる。	2	
				相手の意見を理解して要約し、他者の視点を尊重しつつ、建設的かつ論理的に自らの考えを構築し、合意形成にむけて口頭によるコミュニケーションをとることができる。また、自らのコミュニケーションスキルを改善する方法を習得できる。	2	
				社会で使用される言葉を始め広く日本語を習得し、その意味や用法を理解できる。また、それらを適切に用い、社会的コミュニケーションとして実践できる。	2	
	工学基礎	グローバル化・異文化多文化理解	グローバル化・異文化多文化理解	世界の歴史、交通・通信の発達から生じる地域間の経済、文化、政治、社会問題を理解し、技術者として、それぞれの国や地域の持続的発展を視野においた、経済的、社会的、環境的な進歩に貢献する資質を持ち、将来技術者の役割、責任と行動について考えることができる。	3	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	50	50	0	0	0	0	100
基礎的能力	50	50	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0